

第115号

2019年(令和元年)
6月1日発行



目次

議員のよこがお	P 2~3
藤永議長就任あいさつ	P 4
第1回定例会議案の詳細	P 5
村政のここが聞きたい 4名が一般質問	P 6~9
安心・安全なまちづくりへ 令和元年度予算	P 10~14
議会日誌	P 15
議会の動き	P 16

新篠津村議会議員 新体制スタート (第19期)

お茶の間の議会情報誌

議会通信

Shinshinotsu Village Assembly Information

しんしのつ

よこがお

4年間よろしく
お願いいたします！

2



南部 隆志
2回

①新湧 ②昭和36年6月30日 ③57歳 ④農業
⑤無所属
⑥青年は良き批判者であれ、良き実行者となれ
⑦無芸大食ですが、他人の話を聞くこと
⑧子供からお年寄りが夢と希望の持てる地域づくりと農業や商工業の更なる発展に寄与できるよう頑張ります。

1



大塚 裕樹
2回

①中原 ②昭和48年4月18日 ③46歳 ④農業
⑤無所属 ⑥ピンチはチャンス！チャンスはピンチな顔をしてやってくる。 ⑦農業視察 温泉好き
⑧時代の変化を適切にとらえて、持続可能な農業と頼れる福祉の村づくりに向けて【挑戦・努力・実現】で頑張ります。

4



高橋 孝志
2回

①上篠津 ②昭和31年4月3日 ③63歳 ④農業
⑤無所属 ⑥努力 切磋琢磨 ⑦映画鑑賞
⑧初心を忘れず、地域の再生と活力に努力いたします。特に村の基幹産業である農業の振興、教育、少子高齢化対策、最重要課題の人口減少問題などに力を注ぎ、潤いに満ちた明るい村づくりに取り組みます。

3



高橋 隆光
1回

①あけぼの ②昭和32年2月8日 ③62歳 ④無職
⑤無所属 ⑥人にやさしく、自分に厳しく
⑦新篠津村のPR ギター フラットマンドリン ゴルフ
⑧1人ひとりの「こまった」を「よかった」に変えて行く、新篠津村を目指します。

議員の

※写真右上の数字は議席番号、氏名、当選回数
 ①住所 ②生年月日
 ③年齢 ④職業
 ⑤所属党派
 ⑥好きな言葉
 ⑦趣味・特技
 ⑧議員としての抱負

5



山元

2回 栄

①黎明 ②昭和31年2月10日 ③63歳 ④農業
 ⑤無所属 ⑥感謝 一隅を照らす ⑦読書
 ⑧明日の新篠津の発展を願い、「協働」の力を発揮し、「活力」と「安心」して暮らせる村づくりを目指し、「一村議」として4年間努力していきたいと考えています。

6



林

和彦

1回

①中篠津 ②昭和40年7月14日 ③53歳 ④農業
 ⑤無所属 ⑥真実一路 ⑦旅行 スポーツ鑑賞
 ⑧安心して安全な地域づくりを目指して、農業・商工業の振興を図り、子供から高齢者までこの村で暮らしてよかったですと思うよう、村民一人ひとりの声を大切に一所懸命頑張ります。

7



高井

博美

4回

①あけぼの ②昭和28年5月1日 ③66歳 ④会社役員
 ⑤無所属 ⑥一球入魂 公平無私
 ⑦スポーツ(特に野球) ⑧3期10年間の経験を活かして、心機一転新篠津村のために頑張っていきます。また、村の活性化を図るため、商工業の発展や村の基幹産業である農業を活用した産業振興に全力投球します。

8



藤永

康夫

4回

①拓新 ②昭和33年3月30日 ③61歳 ④農業
 ⑤無所属 ⑥七転八起 ⑦新聞読書
 ⑧基幹産業である農業の振興発展。安心して子供を産み育てられるための子育て支援の拡充。高齢化率35%を超える中、老後の不安解消。これらのことに努め、住民の負託に応えられるよう全力で取り組みます。

議長に藤永康夫議員

副議長に高井博美議員を選出



副議長 高井 博美



議長 藤永康夫

就任にあたって

議長 藤永康夫

となりました。

風清らかな初夏の趣の季節を迎え、村民の皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

そして、日頃より議会運営に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、5月10日に開かれました臨時議会におきまして、議員の皆様のご推挙を受け、再び栄えある村議会議長の要職に就くこととなりました。

このことは、私にとって身に余る光栄であります。未熟者でありますことから、この重責を全うするには、全身全霊を傾けて務めなければならぬという決意を新たにするとところでございます。

また、今年5月1日に新天皇が即位され、平成から令和へ元号が変わり変革の年

我々、村議会も十六年ぶりの選挙が執行され、改めて村民の皆様への審判を受けましたので、地方自治の2元代表制の原則に基づき、村民の代表者としての自覚を再認識しました。

村民の皆様への「声を」、「思いを」、「願いを」村政に届けるべく、より一層の開かれた議会への変革をめざし、議会改革を進めなければならぬと考えております。

本村では、新たな「まちづくり総合計画」に基づく実践がスタートしましたが、全国的な課題でもある人口減少など重要課題が山積し、地方においては多難な時代となっております。議員一同、村民の負託にこたえるよう、粉砕、懸命な努力をいたす所存でございます。

村民の皆さまのご多幸をお祈り申し上げますと共に、議会の活動にさらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶といたします。

委員会の構成

行政常任委員会

- 委員長 山元 栄 議員
- 副委員長 大塚 裕樹 議員
- 委員 高井 博美 議員
- 委員 高橋 孝志 議員
- 委員 南部 隆志 議員
- 委員 高橋 隆光 議員
- 委員 林 和彦 議員

議会運営委員会

- 委員長 高橋 孝志 議員
- 副委員長 大塚 裕樹 議員
- 委員 南部 隆志 議員
- 委員 林 和彦 議員

議会広報特別委員会

- 委員長 大塚 裕樹 議員
- 副委員長 高橋 隆光 議員
- 委員 南部 隆志 議員
- 委員 林 和彦 議員



ニューしのつゴルフ場

平成31年 第1回 定例会

平成31年第1回村議会定例会が、3月6日から15日までの10日間の会期をもって招集されました。初日は、村政及び教育行政執行方針のあと、補正予算や条例の改正など16件を審議し、原案のとおり可決し、1件の専決処分を承認しました。

最終日には、追加の補正予算1件と予算審査特別委員会で審議した、新年度予算5会計を原案のとおり可決し、4人の議員から一般質問を行いました。

定例会の主な内容

補正予算

〔平成30年度補正予算〕

◎一般会計

歳出補正の主な内容

- ・石狩北部地区消防事務組合負担金

△437万円

- ・保育所運営委託料

△454万円

- ・新しのつ産米消費拡大推進施設整備事業補助金

△3820万円

- ・ニューしのつゴルフ場災害復旧業務委託料

354万円

- ・たつぷの湯さく井工事(井戸掘削)

△266万円

- ・村道・公共施設除排雪業務委託料

900万円

- ・村営プール建設工事

△5504万円

〈今回の補正額〉

〈補正後の予算総額〉

38億4149万円

◎国民健康保険特別会計

歳出補正の主な内容

- ・療養給付費

500万円

- ・健診・検査業務委託料

△40万円

〈今回の補正額〉

442万円

〈補正後の予算総額〉

7億902万円

◎農業集落排水事業特別会計

歳出補正の主な内容

- ・浄化センター汚泥処分料

△70万円

- ・浄化センター管理業務委託料

△45万円

〈今回の補正額〉

△140万円

〈補正後の予算総額〉

6660万円

◎介護保険特別会計

歳出補正の主な内容

- ・居宅介護サービス給付費負担金

△660万円

- ・特定入所者介護サービス費負担金

△400万円

〈今回の補正額〉

△1167万円

〈補正後の予算総額〉

3億8128万円

◎後期高齢者医療特別会計

歳出補正の主な内容

- ・保険料等負担金

140万円

〈今回の補正額〉

124万円

〈補正後の予算総額〉

5297万円

条例改正

◎新篠津村営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村営プール設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について

◎新篠津村第4・5辺地総合整備計画の一部変更について

◎札幌広域圏組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議について

◎札幌市及び新篠津村における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

一般議案

◎札幌広域圏組合規約の変更について

◎札幌市及び新篠津村における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

◎新篠津村過疎地域自立促進市町村計画の変更について

◎新篠津村第4・5辺地総合整備計画の一部変更について

◎北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止について

専決処分

◎北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止について

村政のここが聞きたい



一般
質問

～4人の議員から6項目を問う～

1 南部 隆志 議員

①役場職員に対する雇用環境について

2 菊地 清美 議員

①新篠津村に残存する高層湿原の保全と環境教育の教材としての利用について

3 大塚 裕樹 議員

- ①役場職員の副業について
- ②がんの早期発見について
- ③新篠津村版、農業担い手助成金について

4 高井 博美 議員

①人口減対策について



平成31年第1回村議会定例会が3月6日から15日の10日間の日程で開催され、議会最終日に4人の議員が石塚村長に質問し答弁を求めました。

一般質問

南部隆志 議員

一病になった場合の職員への対応として、職場の理解度を高め、業務負担の軽減や臨時的職員の採用など、職場復帰に向けての体制の構築を検討する考えについて、伺いたい。

○石塚村長 答弁

職員には健診を受けるよう進め、平成29年度からは「ストレスチェック」を実施し、職員の悩みやストレスなども調査している。

Q 大病を患った職員へ
復帰に向けての体制は

A 対応や制度が
整っていないのが現状

「同じ職場の現役世代の働き手がガンなど大きな病気になる」ということに対しては、なかなか想像できない事で、その対応や制度はまだまだ整っていないのが現状である。

今後は、本人と勤務体制など十分に話し合い、人事担当や保健師などとも連携しながら、職員の心と体の健康管理を図っていききたいと考えている。

○南部議員 質問
役場の職員が体調を理由に退職しているが、在職中にがんや心の病などの長期休暇等を伴う、病魔に襲われることを考えると不安である。
村として早期発見のために健康診断の推進や、万が

一般質問

菊地清美 議員

もつ湿原資源の保存を訴えている。
湿原保全活動する会と定期的な協議の場を設け、教材として村の財産である環境資源を活かしていただきたい。

また、高層湿原環境の保全の意志を啓蒙し、「村の自然遺産として残していくべきものであり、保全していく」ということを、村の方針として、まちづくり総合計画に搭載していただきたい。

Q 高層湿原環境を
保全して行く考えは

A 関係機関や団体と
協議を進める

なお早急に、湿原を保全するためにその部分を囲い込んで、対策などを考えるはないか。

○石塚村長 答弁

今では非常に希少価値のある高層湿原が村内に残っていることは村の財産でもあり、これから先もそれらを残していくことは大切である。

○菊地議員 質問
新篠津村は泥炭層の表面に田園地帯を造り上げた。
3年前、稀少価値のある高層湿原が残っていることに、気がついた方が「新篠津ツルコケモモを守る会」を結成した。湿原植物の探索活動や、数千年の歴史を

今回策定した総合計画においても、湿原資源を保全する団体である「ツルコケモモを守る会」よりパブリ



イソツツジ



ツルコケモモ花

ックコメントをいただき、「自然環境の保全や生物多様性を保全するため、村民・事業者・行政それぞれの役割分担のもとに対策を推進する」と、記述した。
今後、保全するための対策や教育の教材としての利用法等について、関係機関とも協議し、また湿原資源を保全する会より情報提供等をお願いしながら、囲い込みなど村としてどのようなことができるか、早急に検討していきたい。

写真提供：新篠津ツルコケモモを守る会

一般質問

大塚裕樹 議員

Q 役場職員の副業制度を含めた地域活動は

A 制度はなくとも各種活動に参加している

○大塚議員 質問
働き方改革の一環として、地方自治体にも副業解禁に向け動きがある。
地方公務員は原則として営利目的の副業を禁止しているが、任命権者の許可があれば勤務時間外に限っての副業は可能である。

目的として地域活動に参加すれば職員の視野が広がり、能力の向上も期待できる。

職員が地域の実態を身近に知ることによって課題を吸い上げ、施策に反映できるようなればと期待する。

今後、益々、高齢化により地域活動や事業所の継続、農村地帯の人手不足が深刻になってくる。

やる気のある職員の勤務時間外での活動や報酬の基準を、明確にすることは必要ではないかと考える。

○石塚村長 答弁
副業については、職員が

ら申請があれば内容を審査し、許可することはできるが、我々公務員は、公僕として国民全体の奉仕者である以上、本業である公務を第一優先するのは当然であり、本業に支障がでること

は、許されないことである。本村は小さな村であるので、職員が地域の活動を盛り上げるため、積極的に青年団や消防団、地域担当職員として、自治区・自治会活動に参加している。

このことがある程度定着して、制度がなくても各種活動に参加し、少なからず地域の課題を吸い上げていくものと考えている。



消防団で活躍の役場職員

Q がん検診について詳しい説明が必要では

A 各種取り組みを行い普及啓発に努める

診の必要性など、がん検診について、住民にもっと詳しく説明する必要があるのではないかと。

○石塚村長 答弁

本村では、がん検診を受診しやすいように、特定健診と合わせて行い、実施時期も農閑期に合わせて、年間を通して受診できるように多くの受診日を設けている。

しかし、近年、受診率が上がっていないのも事実であり、がん検診の必要性や重要性について、住民周知を検討している。

今後、住民周知の方法として、がんの特性や検査方法が違うため、わかりやすいパンフレットを作成して、全戸配布する。

村民の健康づくりの意識の高揚を図るため、「健康まつり」を開催する。

このように、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と、正しい健康意識の普及啓発を図るよう、努めていきたい。

○大塚議員 質問
テレビCMで日本人の2人に1人は、がんになると言われている。
がんは早期発見で治療すれば治る時代だとも言われている。進行して見つかるのと、治療が難しい場合も少なくない。「早期発見」が大切であり、その為にはがん検診を受ける必要がある。
国の受診率の目標は50%だが、村の受診率は上がらない。
検査項目の意味やがん検

Q 新規就農者へ補助金 支給などの検討は

A 総合的な観点で 施策を検討する

業と農地の維持管理だけでなく、地域の担い手として消防団をはじめ、多くの行政活動の協力者として必要不可欠でもある。

新規就農者へ農業所得向上への支援として補助金支給など、検討する必要があるのではないか。

○大塚議員 質問

近年、村内の新規就農者は毎年5名程度就農している。

しかし、現在、社会は空前の人手不足の状況である。消費税も上がり、農産物の価格低迷、機械、肥料、資材などのコスト増、国の財政の悪化により補助金も確実に減少している。

このままでは後継者不足になり、農地の維持管理も難しくなり、農村地帯の自治区活動も益々厳しくなることが想定される。

農業後継者の役割は、農

○石塚村長 答弁

本村の新規就農者への施策として、村農業振興センターにおいて「農業塾」という農業後継者や、新規就農者への農業に関する基礎知識及び実践的な技能を、2年間で研修する事業を行っている。

村では、これまで子育て支援や定住対策など、様々な施策に取り組んでいる。

今年度から新たにスタートする村総合計画では、人口減少対策の一つとして村に定住した雇用者に対しての支援金制度も検討しており、その中で農・商工・福祉など、総合的な観点に立つての施策を検討していきたい。

一般質問

高井博美 議員

Q 人口減少対策の 検証と今後の施策は

A 雇用・定住対策として 支援金制度の創設

○高井議員 質問

村長は就任以来、人口減少対策を最重要課題に挙げている。

3月1日現在、新篠津村の人口は3090人となり、3000人を割るのも時間の問題だと思っ

前村長から子育て世代に

対して手厚い対策をしてきたが、これらの対策に対し検証されたのか。

31年度から、まちづくり総合計画がスタートするが、具体的に前期4年間及び後期4年間を、どのように進めていく考えなのか。

また、土木業者の従業員は、村外から通勤している者が多く、そのため定住対策として、従業員の勤労者住宅を建設する考えはないか。

○石塚村長 答弁

今回策定した総合計画における村の将来人口は、計画最終年の2026年度には、2832人と想定されている。

各種子育て支援や定住支援の検証をこれから行い、その効果と課題を洗い出しながら、執行方針で述べたように、まちづくり総合計画において、人口減少対策を最重要課題として、今後のまちづくりを進めていきたいと考えている。

対策としては、公共交通

バスの維持、通勤・通学対策、みのり団地の販売も含めた定住促進のための定住対策、子育て支援の対策等、現在実施している対策を継続するとともに、新たに、雇用・定住対策としての支援金制度などを進めていきたい。

また、勤労者住宅を村で建設するのは難しいことではあるが、土木業者が社宅などを建設する場合には、当然一部助成などの支援を検討していく。



定住促進団地「みのり団地」

令和元年度
予算

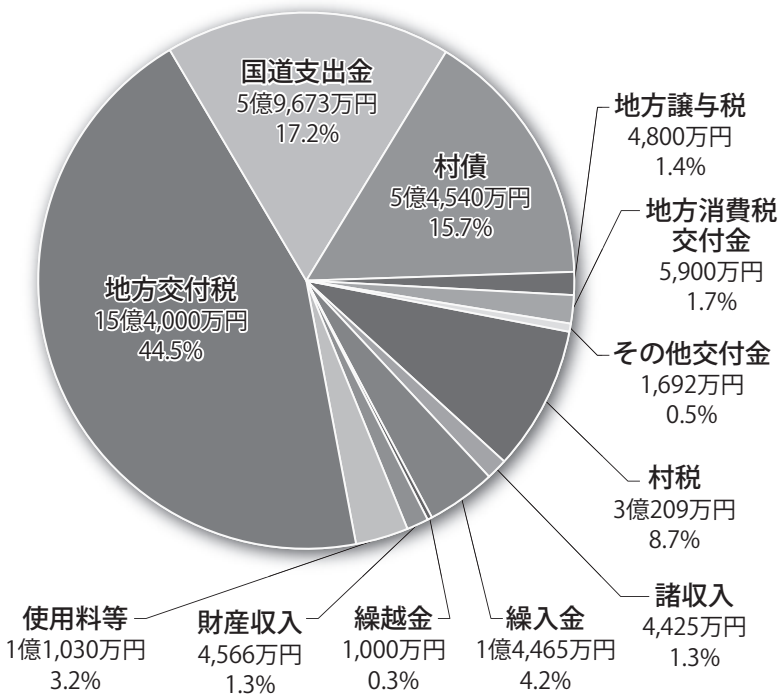
安心・安全なまちづくりへ

第4地区社会教育会館建設、救急車更新

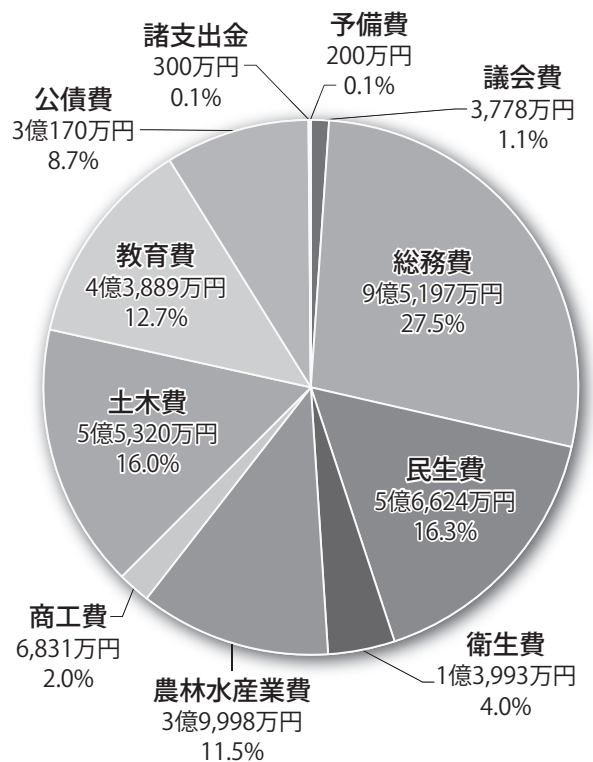
一般会計予算の内容

歳入歳出総額 34億6,300万円

【歳入予算構成比】



【歳出予算構成比】



平成16年度購入の更新予定の救急車



昭和56年建築の改築予定の第4地区社会教育会館



高井 博美 委員長

平成31年第1回村議会定例会初日（6日）に付託された平成31年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 高井博美、副委員長 山元栄）を設置し、3月12日に審査を行いました。15日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

平成31年度（令和元年度）当初予算

会 計 名	予算額(万円)	前年度比(%)
一 般 会 計	34億6,300	△ 11.3
国民健康保険特別会計	6億8,100	3.8
農業集落排水事業特別会計	7,100	4.4
介護保険特別会計	3億9,000	2.1
後期高齢者医療特別会計	5,300	0.0
合 計	46億5,800	△ 8.0

■南部委員
生活交通路線維持運行費補助金が、237万円ほど増額になっているがその理由は。

□吉田住民課長
高額化すると一時的に転入などで増えるかもしれないが、すこやか助成や入学祝金など総合的な政策で対応していきたい。

■藤永委員
出生数を増やすために、出産祝金の増額が今後必要ではないか。

総務費

□石若総務課主幹
北新線バスの運営に係る赤字補填分であり、利用者の減などで赤字額が多くなる見込みである。



重要な路線バス 北新線

■菊地委員
職員給与費の臨時職員賃金が、900万円ほど減額になっているが理由は。

□山田総務課主幹
給食センターの調理業務が、1月から民間業者に委託となったため、臨時調理員の賃金分が減となった。

■大塚委員
当別町・新篠津村特別区連携プロジェクト協議会負担金について、毎年事業内容が変わっていると思うが、31度はどのような事業を行うのか。

□石若総務課主幹
道の補助金がなくなるため、規模を縮小して行う予定である。内容は中野区と当別町と、今後協議して決定する。

平成31年度(令和元年度)予算

■予算審査特別委員会

一般会計ほか4特別会計の予算を審議



わかさぎ卵のふ化盆おろし作業

■大塚委員

わかさぎ釣りに関して、どのくらい村として努力しているのか。

□石若総務課主幹

卵を一千万粒から二千万粒を入れている。また、水質調査を行いわかさぎの成長に、特に問題ないと回答を得ている。

民生費

■植島委員

除雪サービス事業委託料について、市街地区だけではなく農村部も行っているのか。

□吉田住民課長

民間業者と社会福祉法人に委託をして、合計で中央自治区が37件、第2自治区が1件、第3自治区が2件である。

■藤永委員

民生委員活動費助成金について、ボランティア的になりつつあるので、今後の手の問題とかはないのか。

□吉田住民課長

人口減の中、適任者を見つけてるのはなかなか難しい状況である。

■大塚委員

乗合タクシー運行事業について、障がい者などの利用は考えていないのか。

□吉田住民課長

要望があれば慎重に検討し、営利目的でなければ可能だと考えている。



高齢者乗合タクシー

■植島委員

乗合タクシー運行事業で、免許の返納者が増えてきているため、利用者が増えると思うが、運行の増便やコースの変更などの予定はあるのか。

□吉田住民課長

利用者登録が増えていないため、増便やコースの変更は今のところ予定はない。

衛生費

■南部委員

し尿等処理手数料が、110万円ほど増額しているがその理由は。

□金兵住民課参事

江別の処理センターで処理している経費であり、江別市との委託契約の中で単価が増加したことによる。

■藤永委員

検診・検査業務において、近年受診率が上がっているがその流れを継続していただきたい。

□吉田住民課長

31年度に健康管理システムを導入するので、住民の

受診状況を把握し分析して、未受診者に対し保健師を通じてアプローチをしていきたい。

農林水産業費

■植島委員

猟銃免許を取得後、猟銃の維持等に係る助成はあるのか。

□東産業建設課主幹

有害鳥獣捕獲担い手確保事業補助金で対応している。

■大塚委員

農業次世代人材投資事業補助金について、農業後継者に対して補助金だけではなく側面からもサポートしてもらいたい。

□東産業建設課主幹

村と農協、農業振興センターと協力しながら進めていきたい。

商工費

■山元委員

地域おこし協力隊のこれからの活動予定は。

□石若総務課主幹

過去2年の活動を継続するとともに、31年度が最終になるので、終了後のことも検討しながら活動していく。

■植島委員

商工業振興補助金の内容は。

□石若総務課主幹

商工会の運営に係る費用で、職員の人件費や会館維持費などである。

■藤永委員

サイクリングマップ作成等業務委託の内容は。

□石若総務課主幹

村内にサイクリングコースを4か所ほど設定して、村のPRも載せながらマップの作成を行う。

■藤永委員

ドローンの購入後の取組について

□林総務課長

ドローンを利用した観光PRなどを目的に導入するが、災害時や農業など幅広く活用していきたい。

■大塚委員

産直市場空調設備設置工事について、エアコンを設置するのはいいが、屋根が一切断熱処理されていないので、ここも何かする必要があるのでないか。

□石若総務課主幹

屋根については、技術的なこともあるので産直の現場を確認し、従業員と協議しながら検討したい。

土木費

■南部委員

土木管理費と道路維持費の、自動車重量税が増加している理由は。

□佐藤産業建設課長

それぞれ車検に伴う重量税のため、2年に1度多い年であれば少ない年もある。

■藤永委員

西団地D棟外部改修工事の概要は。

□佐藤産業建設課長

外壁及び屋根の塗装、ベランダの防水補修を行う。



塗装工事が予定されている西団地D棟

■南部委員

村営バス運行業務委託料の増加理由は。

□佐藤産業建設課長

運転手の労務単価の上昇と消費税のアップ分も見込んでいるため。

教育費

■南部委員

学校給食センター運営協議会委員の内訳は。

□松村教育委員会教育次長

小中学校の校長、社会福祉協議会の事務局長、小中学校のPTA会長、各保育所の保護者会会長、教育委員と協議会議員の10名で構成している。

■山元委員

小中一貫教育検討協議会委員報酬の内容は。

□松村教育委員会教育次長

小中一貫教育に向けて取組を進めていくに当たり、内容等を検討する委員会を設けその委員に対する報酬である。また、委員の構成は外部の学識者と村内の有識者を考えている。

■ 植島委員

B & G 体育館アリーナ暖房設備改修工事の内容は。

□ 松村教育委員会教育次長

壊れている2基の更新と2階の武道場の暖房器も検討しながら、体育館全体で更新していきたいと考えている。



B & G 体育館暖房設備

■ 山元委員

図書の購入はどのようにしているのか。

□ 松村教育委員会教育次長

販売業者からの斡旋や職員が選ぶ場合など、さまざまな購入方法を行っている。

■ 菊地委員

小中学校空調設備の設置工事ほどの場所に設置するのか。

□ 松村教育委員会教育次長

両校とも保健室に設置する。

一般会計歳入全般

■ 南部委員

固定資産税の家屋の課税標準額が増えた要因は。

□ 岡総務課主幹

30年度中に新たに12軒の家屋が増えたためである。

■ 植島委員

特別交付税について、災害などにも充当できると思うが申請業務なのか。

□ 五十嵐総務課財政係長

普通交付税の方で措置されない、特別な財政需要がある場合に申請し交付されるものである。

国民健康保険特別会計

■ 南部委員

国保税の現状の滞納額はいくらぐらいか。

□ 岡総務課主幹

滞納繰越額は1406万円程度である。

農業集落排水事業特別会計

■ 大塚委員

浄化センター管理委託業務は、村内の業者が行える可能性はあるのか。

□ 佐藤産業建設課長

電気も含めて大型の機械になるので、トータルで保守管理ができる業者は村内にない。

介護保険特別会計

■ 南部委員

家族介護支援事業給付費の増額理由は。

□ 鈴木住民課主幹

介護用品の支給対象が増えているため。

各会計歳入歳出全般

■ 藤永委員

人口減少の中、限られた財源でメリハリをつけた予算組みだと思うが、村長の自己採点とこの予算への思いを伺いたい。

□ 石塚村長

自己採点は皆様方が採点するものなので、控えさせていたたく。

予算への思いは、何点かを柱として予算組みをした。①女性が子どもを産んでから安心して子育てができる



6月5日オープン予定の「のびのびプール」

環境づくり②高齢者が健康寿命を延ばせるような健康づくり③自治センターの非常用電源の設置など防災対策④健康づくりを推進し検診率の向上⑤村民プール完成後、B & G 体育館をスポーツの拠点とする健康づくり⑥福祉施設の職員採用時に支援金を補助し人材確保への協力など、まちづくり総合計画のスタートの年であり限られた財源の中、総合的に村民の安心安全を考慮え施策を進めていきたい。

第1回臨時会 (5月10日)

専決処分

◎平成30年度新篠津村一般会計補正予算(第10号)

歳出補正の主な内容
 ・減債基金積立金 3000万円
 ・環境保全型農業直接支払交付金 △709万円
 ≪今回の補正額≫
 1539万円

≪補正後の予算総額≫
 38億5688万円

一般議案

◎工事請負契約の締結について

工事名 南団地5・6号棟建築主
 体工事
 工事概要 規模 2棟8戸
 延床面積 553・13㎡
 契約金額 1億9360万円
 契約相手方 辻野建設工業株式会社

工期

令和元年12月13日まで
 ◎工事請負契約の締結について

工事名 第4地区社会教育会館建設工事

工事概要 構造 鉄骨造平屋建て
 延床面積 296・00㎡
 契約金額 1億6489万円
 契約相手方 岩倉建設株式会社

工期 令和2年5月29日まで

人事

◎新篠津村監査委員の選任について

任期満了に伴う監査委員に南部隆志氏(新)を選任したいとの提案があり、これに同意しました。
 任期は令和5年4月30日までです。



南部 隆志 氏

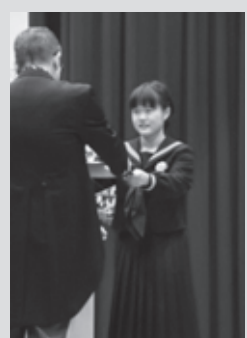
議会日誌

【2月】

- 7日 札幌広域圏組合議会定例会 (札幌市)
- 石狩管内町村行政懇談会 (札幌市)
- 13日 農業振興懇話会研修会 農業政策懇談会 (札幌市)
- 14日 第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会 開会式 (札幌市)
- 15日 議員協議会 田代勝美氏 瑞宝単光 章受章祝賀会
- 20日 石狩教育研修センター 組合議会定例会 (北広島市)
- 22日 村建設協会通常総会
- 25日 北海道町村議会議長会 70周年記念式典 (札幌市)
- 27日 新年度予算正副議長説明会 議会運営委員会 議員協議会 石狩町村議会議長会定例会 (札幌市)

【3月】

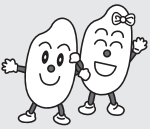
- 1日 予算勉強会
- 6日 第1回村議会定例会 (～15日)
- 9日 行政常任委員会 議会広報特別委員会
- 12日 高等養護学校卒業式
- 13日 予算審査特別委員会 中学校卒業式
- 15日 新篠津村農業協同組合 創立70周年記念式典・祝賀会
- 20日 小学校卒業式 (最終日)
- 27日 住民と議会の懇談会



【4月】

- 6日 小学校入学式
- 8日 中学校入学式
- 9日 村老人クラブ連合会総会
- 9日 高等養護学校入学式
- 26日 村観光協会総会
- 10日 第1回村議会臨時会
- 13日 石狩町村議会議長会臨時総会 (当別町)
- 14日 村交通安全推進委員会総会
- 16日 商工会通常総会
- 21日 議会広報特別委員会
- 25日 幸生園まつり
- 31日 第2回村議会臨時会



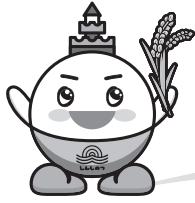


議会通信しんしのつ

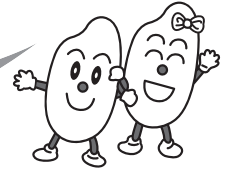
(令和元年6月1日発行)



発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地
☎(0126) 571211



議会の動き



住民と議会の懇談会

平成31年3月27日、役場2号会議室で「住民と議会の懇談会」を開きました。

この懇談会は、村民の皆さんに議会活動を知っていただき、皆さんの声を村政に反映することを目的に平成24年度より開催しており、今年で7回目となります。

今回は、「女性から見た新篠津村のまちづくり」をテーマに、村内の各団体(行政委員、JA新しのつ、商工会など)で委員・役員等を務められている女性を対象に意見交換を行いました。

当日は21名の方にご参加いただき、心より厚くお礼を申し上げますとともに、たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。



平成30年度議員研修会

平成30年度新篠津村議会議員研修会が3月1日、役場2号会議室で開催し、議員のほか、村職員が研修を受けました。

講師に、北翔大学教育文化学部教育学科西出勉教授を招き、『明日を担う新篠津村の子どもたちのために～今、なぜ「非認知能力」なのか～』をテーマに講演をして頂きました。



懇談会での主な意見等

- ・役場職員の庁舎内での挨拶や来庁者への対応・雰囲気改善について
- ・役場の窓口カウンターでのプライバシーへの配慮について
- ・女性も参加して発言しやすい自治懇談会の改善について
- ・生ごみ回収日の増設について
- ・子供たちが放課後に安全に遊べる場所等について
- ・マンネリ化している「青空まつり」の刷新について

以上、一部を掲載させていただきましたが、議会として、参加者の皆様からいただいたご意見につきましては村関係課に伝え、改善・対応策等の検討を行うよう申し入れました。また、今後につきましても、経過を注視してまいりたいと考えております。

編集後記

5月から議会広報特別委員会の委員が変わりました。これからも、村民の皆さまに分かりやすく、親しみのある議会通信の発行を目指して努力しますので、よろしくお願いたします。

議会広報特別委員会

- | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 議長 | 委員 | 副委員長 | 委員 | 委員 |
| 藤永 康夫 | 林 和彦 | 南部 隆志 | 高橋 隆光 | 大塚 裕樹 |

令和元年 第2回定例会 のお知らせ 6月17日(月) ～6月21日(金) 予定

どなたでも傍聴できます。
皆様のご来庁をお待ちしております。